

## 柔道競技専門部の対策

### 【入場について】

1. 参加者は、選手・監督・引率・コーチ・付き添いの生徒(個人戦のみ参加選手1名につき1名)、応援者、役員・審判・来賓等のみとする。監督・引率・コーチ及び応援者用のADカードは、所属中体連の指導のもと、各出場校にて作成すること。
2. 全参加者は、(別紙1)体調記録表を大会2週間前から記入すること。選手・コーチに関しては、(別紙1)を大会当日に監督へ提出すること。監督は、(別紙1)で選手・コーチの状況を確認し、(別紙2)学校同行者体調記録表にまとめ、(別紙4)応援者(保護者等)体調記録表と一緒に当日朝の受付時に提出すること。(体調記録表をもとに入場の制限を行うので記名、検温の記入がない場合は入場できない。)体調不良者は参加を認めない。

### 【提出物一覧(朝受付時)】

- 学校同行者体調記録表(別紙2)←選手(付き添い生徒を含む)・監督・引率・コーチ分(監督)
- 応援者保護者体調記録表(別紙4)←来場予定応援者分(監督)

3. 全参加選手(付き添い生徒を含む)は、各出場校の大会申込までに、監督へ(別紙5)同意書を提出すること。(同意書は大会後1ヶ月まで学校保管)
4. 館内ではマスクを必ず着用すること。ただし、試合時は外してよい。また、試合の前後において、人と十分な距離(2m以上)が確保できる場合には、マスクを外してよい。
5. 更衣室はとくに設けない。各自済ませて集合すること。必要であれば、女子は1Fと2Fの更衣室を利用し、男子はサブアリーナで更衣を済ませること。
6. サブアリーナを選手控室とする。密にならないように間隔を取って過ごすこと。
7. 試合を行っていない選手や、応援者はサブアリーナに設置のモニター(スクリーン)で試合場内の進行確認をする。その際、十分な距離(2m以上)を保ち、声を出すなどの観戦はせぬよう、チームで注意喚起を行うこと。
8. トイレに並ぶ場合は十分な距離(2m以上)を空けること。
9. その他、三つの密「密閉・密集・密接」の回避や、「人と人の距離の確保」「手洗いなどの手指消毒」をはじめとした基本的な感染防止対策を各自しっかりと行うこと。
10. 試合時以外に応援者の武道場内への入場は認めない。

### 【試合について】

1. 開・閉会式は行わず、表彰式のみ行う。
2. 試合後は補助員席テーブルに設置している手指消毒液で必ず消毒を行うこと。また、試合終了のたびにこまめな手洗いを行うこと。
3. ハイタッチや握手は行わず、至近距離での声掛けも行わないこと。
4. 試合中、監督・コーチのアドバイスは、マスクをつけた状態で「待て」の間に行うこと。また、試合前後の生徒に対するアドバイスも、距離を取った上で行うこと。
5. 原則、紅白帯の貸し出しはしない。できる限り自校で準備すること。
6. 畳及び副審用の椅子の消毒は、定期的に試合場補助員が行う。
7. 試合が連続する場合は、試合が終了してから3分後に次の対戦を開始する。
8. 給水はマイボトルを用意し、チーム内でのコップの共有、使い回しをしないこと。

### 【応援者について】

1. 応援者は、登録選手1名につき1名とする。
2. 武道場内は250名という収容制限があるため、競技中における応援者の入場は以下のとおり制限をする。
  - ・ 団体戦…現試合校(男子5名、女子3名)の応援者のみ。
  - ・ 個人戦…試合が実施されている階級の参加選手の応援者のみ。
3. 応援者は、各出場校が用意したADカードを着用すること。
4. 応援者の入れ替わりは認めるが、(別紙4)に記載されている応援者に限る。
5. 会場(サブアリーナ含む)にいる間は、常にADカードを身に付けておくこと。ADカードがない場合は会場への入場はできない。不正利用がないように責任を持つこと。

### 【その他】

1. 感染防止のために本部が決めた措置を遵守し、その指示に従うこと。
2. 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、中体連事務局へ速やかに濃厚接触者の有無について報告すること。
3. 各記録表提出や、参加者が遵守すべき事項について、協力を得られない参加者には、他の参加者の安全を確保する等の観点から、大会への参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがある。
4. 本大会参加者に感染が判明した場合には、参加者名簿を関係機関に公表する場合がある。